

平成23年度

食と農林水産業の地域ブランド協議会セミナー（東京会場）

「農林水産物・食品の 地域ブランド確立と 知的財産の戦略的活用」

※農林水産省「農林水産物・食品地域ブランド化共通基盤構築事業」

日時：**2月24日(金)** 13:30～17:00

セミナー参加費無料

場所：**日本青年館ホテル**

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘7番1号

<http://www.nippon-seinenkan.or.jp/access/>

開催趣旨

現在、各地域において、地域の農林水産業、食品産業の競争力強化や地域活性化につなげていこうとの観点から、地域ブランド化の取組が進められています。

このような農林水産物・食品の地域ブランド化の取組主体や支援者、加工・流通の関係者等が幅広く参集し、相互の情報の交換や提供、交流等を実施するため、平成19年11月に「食と農林水産業の地域ブランド協議会」が設立されました。

このたび当協議会では、各地の地域ブランド化の取組のさらなる発展と、既に確立しつつある地域ブランドの保護に向けたセミナーを開催することとなりました。地域ブランド化の確立に向けた方策を議論するとともに、知的財産としての保護・活用について検討します。

主催：食と農林水産業の地域ブランド協議会・株式会社日本総合研究所

「農林水産物・食品の 地域ブランド確立と 知的財産の戦略的活用」

※農林水産省「農林水産物・食品地域ブランド化共通基盤構築事業」

プログラム

1. 開会（13:30～14:00）

●ご挨拶 ●協議会活動報告

2. セミナー（14:00～17:00）

（1）基調講演（14:00～15:00）

今こそチャンス！農業は成長分野である

講師 株式会社ナチュラルアート 代表取締役 鈴木 誠

1966年、青森県生まれ。慶應義塾大学商学部を卒業後の1988年、東洋信託銀行（現・三菱UFJ信託銀行）に入社。ベンチャー投融資等を担当し、野村證券への研修派遣を経て、9年10カ月勤めた銀行を退社。その後、慶應義塾大学院経営管理研究科（ビジネススクール）卒業（MBA）。奥村昭博研究室。2003年、株式会社ナチュラルアートを設立、現在にいたる。全国の農協・企業・官公庁・大学等で年間60回の講演を実施するほか、日本農業を担う農業経営者の育成を目的とした農業ビジネススクールを開催。



（2）先進事例発表（15:10～16:40）

事例① 十勝川西長いもの挑戦 ～一貫した品質管理が海外市場で通用するブランド力をつくる～

講師 帯広市川西農業協同組合（JA帯広かわにし） 農産部部長役 広域流通統括 常田 馨

十勝平野の中央部に位置する帯広市川西地区は大規模機械化農業の先進地帯であり、小麦・甜菜等の生産のほか、長いも・アスパラ・長ねぎなどの青果物も着実に面積を増やしてきた。長いもの生産は約40年前に始まり、現在は500haの作付で約20,000トン（約50億円）生産され、うち1割にあたる約2,000トンが台湾やアメリカに輸出されている。「十勝川西長いも」はブランド形成を目指し、広域事業の展開、通年供給に取り組むとともに、平成18年11月には「地域団体商標」制度による第1号の登録、平成19年には長いも選果施設において農産物選別施設（加工食品を除く）では、国内では例が無いHACCP認証を取得した。



事例② 紀州みなべの南高梅 ～ブランド化への取組みについて～

講師 JAみなべいなみ 総務部 部長代理 出口 晴夫

JAみなべいなみは、紀伊半島の南西斜面、和歌山県のほぼ中央に位置し、みなべ町・印南町と一部御坊市にまたがり、黒潮暖流の恩恵を最大限生かした純農村地帯に位置する。なかでも、管内に約2,023haの栽培面積を誇る全国的に有名な日本一の「紀州みなべの南高梅」、また西日本一の生産量を誇る「小玉スイカ」や「紀州うすい」「きぬさや」に代表される豆類、房取りの高糖度ミニトマトの「赤糖房」、さらに「スターチス」「かすみ草」に代表される各種花き類など、多くのブランド品目によって一大産地を形成している。



事例③ TOKYO Xにおける地域ブランド戦略

講師 TOKYO X-Association 会長 植村 光一郎

飼料会社で飼料設計、経営指導や大規模肉牛生産に取り組む。その後食肉会社で量販店への国産食肉販売を行い、輸入牛肉自由化後は外国産食肉の販売や販促活動を行い国産食肉、輸入食肉の販売を経験してきた。現在は、食材の個性や特徴を生かした銘柄化を推進し北海道、群馬県、埼玉県、静岡県、岡山県、沖縄県の地域農土に合わせた銘柄化推進に奔走している。



（3）総括（16:40～17:00）

地域ブランド化の方向性

講師 明治大学大学院 グローバル・ビジネス研究科教授
財団法人流通経済研究所 理事長 上原 征彦
（食と農林水産物の地域ブランド協議会 会長）

東京大学経済学部卒業、日本勧業銀行（現みずほ銀行）、（財）流通経済研究所、明治学院大学経済学部助教授、同教授、ペンシルヴェニア大学客員教授を経て、2004年より現職。専攻はマーケティング戦略論、流通論。食料・農業・農村審議会 会長（2007年7月4日まで）、食料供給コスト削減検証委員会委員長を務めるなど、マーケティングの視点から農林水産業に対する提言を行う。主な著書に「経営戦略とマーケティングの新展開」、「マーケティング戦略論」、論文に『ブランドマーケティングと農工商連携』など。



申込方法

参加希望者は2月22日（水）17:00まで、下記ホームページよりお申込みください。
応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

お問合せ先

（株）日本総合研究所 総合研究部門 公共コンサルティング部 春山、池田

TEL: 2/3まで 03-3288-5375 2/6から 03-6833-5315

申込みホームページ http://www.jri.co.jp/seminar/120217_381/detail/

※本社移転のため、2月6日から電話番号が変更となります。ご不便をおかけいたしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。